

お知らせします！ まちの行財政 2016

くずまき

平成28年度
予算説明書

山村のモデルとなる

まちづくりのために **132億円**



発行にあたって



岩手県 葛巻町長
鈴木重男

町民の皆様には、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

町ではこれまで、一步先行く取組による「山村のモデルとなるまちづくり」に向け取り組んで参りました。

これまで実施してきた各種施策の効果が少しずつ現れていると実感しておりますが、一方で、町の人口減少には歯止めがかかっていない状況であります。

このような中、まちづくりの最重要課題に「人口減少問題」を位置づけて、その対策を盛り込んだ新たな町総合計画と町総合戦略を本年3月に策定したところであり、今後、あらゆる手段を講じながら、問題解決に向けて取り組んでいく考えであります。

平成28年度からは人口減少対策を推進する専門部署「いらっしやい葛巻推進室」を新設し、子育て世代定住促進住宅の整備、若者定住推進家賃助成の創設など、若者世代の定住や新たな移住者の確保に向けた対策を加速させて参ります。

更には、葛巻病院の改築工事が本格化するほか、江刈小学校改築、養護老人ホーム葛葉荘改築、江刈簡易水道整備など、住民生活の充実に向けた大型事業が実施されます。また、健康診断の無料化、各種医療費助成の充実など、「安心して住み続けたい町」に向けた事業や、町が持つ魅力や資源を最大限に活用した産業の活性化に向けた事業なども盛り込んでおります。

今後も、町民の皆様と一体となった、「葛巻らしい」「葛巻だからできる」取組で、果敢に人口減少問題に挑んで参りたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年5月

目次

1p	発行にあたって
2p	まちの予算の状況
6p	総合計画体系別の予算の状況
21p	まちの決算の状況
28p	まちの財務諸表
30p	まちの行政組織

平成28年度 まちの 予算 の状況

■ 予算額 (平成 27 年度対比)

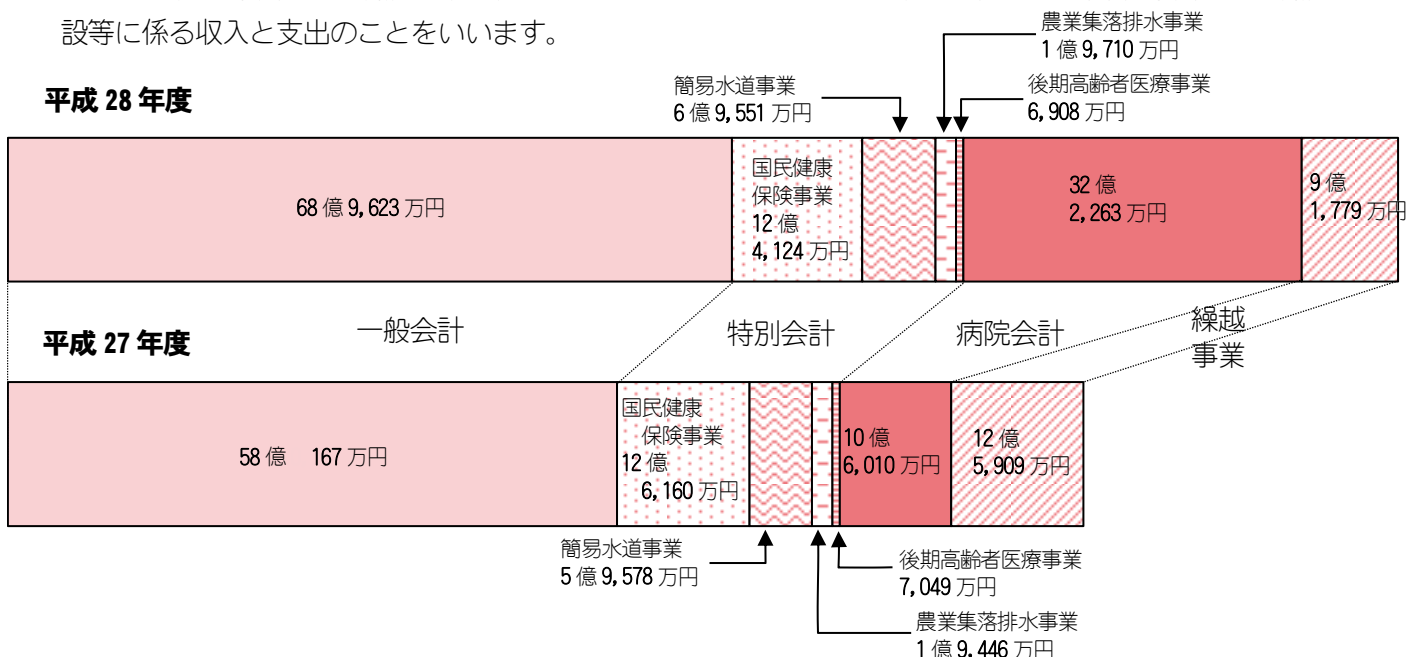
平成28年度の町の予算総額は、123億2,179万円で前年度に比較して33億3,769万円（37.2%）の増となりました。また、平成27年度からの繰越事業9億1,779万円を加えると総額132億3,958万円となり、実質29億9,639万円（29.3%）の増となっています。

前年度からの予算額の大幅な増加は、公共施設や道路の整備などの建設事業が多く盛り込まれたことによるものです。

会計名	平成28年度	平成27年度	増減額(伸率)	
一般会計	68億9,623万円	58億167万円	10億9,456万円(18.9%)	
特別会計	国民健康保険事業勘定	12億4,124万円	12億6,160万円	▲2,036万円(▲1.6%)
	簡易水道事業	6億9,551万円	5億9,578万円	9,973万円(16.7%)
	農業集落排水事業	1億9,710万円	1億9,446万円	264万円(1.4%)
	後期高齢者医療事業	6,908万円	7,049万円	▲141万円(▲2.0%)
国民健康保険病院事業会計	32億2,263万円	10億6,010万円	21億6,253万円(204.0%)	
収益的収支 ※	9億8,939万円	9億9,138万円	▲199万円(▲0.2%)	
資本的収支 ※	22億3,324万円	6,872万円	21億6,452万円(3149.8%)	
合計	123億2,179万円	89億8,410万円	33億3,769万円(37.2%)	
前年度からの繰越事業	9億1,779万円	12億5,909万円	▲3億4,130万円(▲27.1%)	
総合計	132億3,958万円	102億4,319万円	29億9,639万円(29.3%)	

※ 病院事業会計の予算は、収益的収支の「収入」総額と、資本的収支の「支出」総額の金額となります。

※ また、収益的収支は、病院事業の経営活動によって発生する全ての収入と支出で、資本的収支は、病院建設等に係る収入と支出のことをいいます。



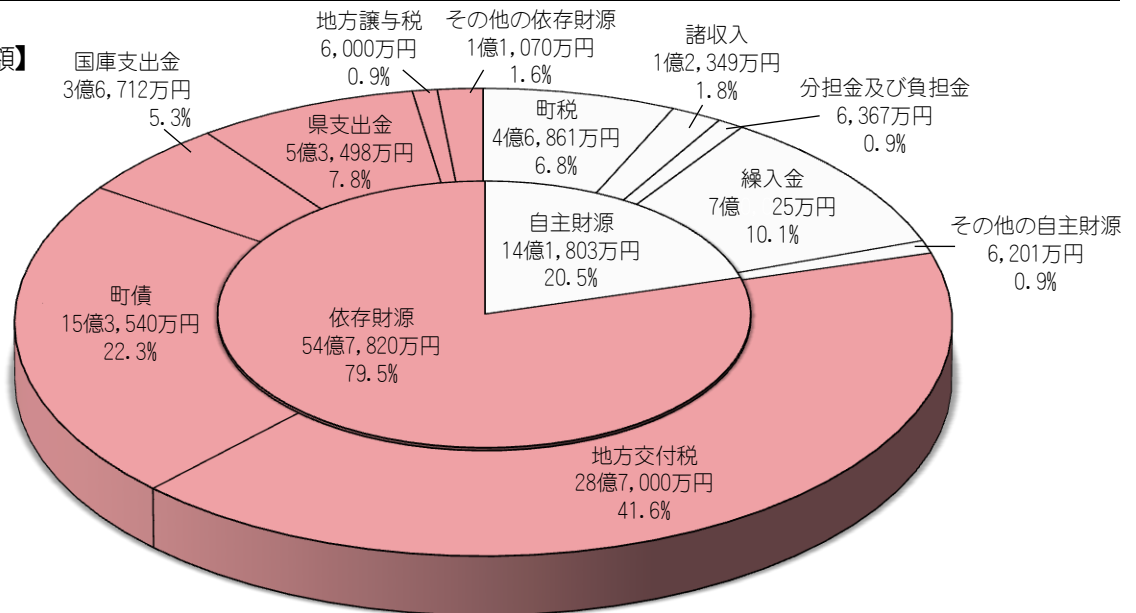
■一般会計 歳入 (入ってくるお金)

歳入は、その性質により自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れ】など）と依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金】など）に分かれます。

平成28年度予算の自主財源割合は20.5%で、平成27年度の13.9%に比べ6.6ポイント増加していますが、これは建設事業のための基金繰入金が大きく増加したことが主な要因です。

項 目	平成 28 年度予算額 (構成比率)	平成 27 年度予算額 (構成比率)	摘 要	
自主財源	町 税	4 億 6,861 万円 (6.8%)	4 億 6,375 万円 (8.0%)	町民の皆さんからの税金
	諸 収 入	1 億 2,349 万円 (1.8%)	9,669 万円 (1.7%)	町預金利子や町税等の延滞金等
	分担金及び負担金	6,367 万円 (0.9%)	6,232 万円 (1.1%)	保育所や老人ホームなどの利用者が負担したお金
	繰 入 金	7 億 25 万円 (10.1%)	1 億 2,469 万円 (2.2%)	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
	その他の自主財源	6,201 万円 (0.9%)	1 億 5,883 万円 (1.0%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源	地 方 交 付 税	28 億 7,000 万円 (41.6%)	30 億 1,000 万円 (51.9%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町 債	15 億 3,540 万円 (22.3%)	9 億 7,170 万円 (16.7%)	事業を行うために国などから借りるお金
	国 庫 支 出 金	3 億 6,712 万円 (5.3%)	3 億 8,266 万円 (6.6%)	事業を行うために国からもらうお金
	県 支 出 金	5 億 3,498 万円 (7.8%)	4 億 8,393 万円 (8.3%)	事業を行うために県からもらうお金
	地 方 譲 与 税	6,000 万円 (0.9%)	6,000 万円 (1.0%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	1 億 1,070 万円 (1.6%)	8,710 万円 (1.5%)	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
合 計	68 億 9,623 万円 (100.0%)	58 億 167 万円 (100.0%)	前年比 10 億 9,456 万円増	

【平成 28 年度予算額】



●歳入 (平成28年度予算と前年度予算との比較)

H28	依存財源 54.8 億円 79.5%		自主財源 14.2 億円 20.5%
	うち交付税 28.7 億円 41.6%	うち町債 15.4 億円 22.3%	
H27	依存財源 50.0 億円 86.1%		自主財源 8.0 億円 13.9%
	うち交付税 30.1 億円 51.9%	うち町債 9.7 億円 16.7%	

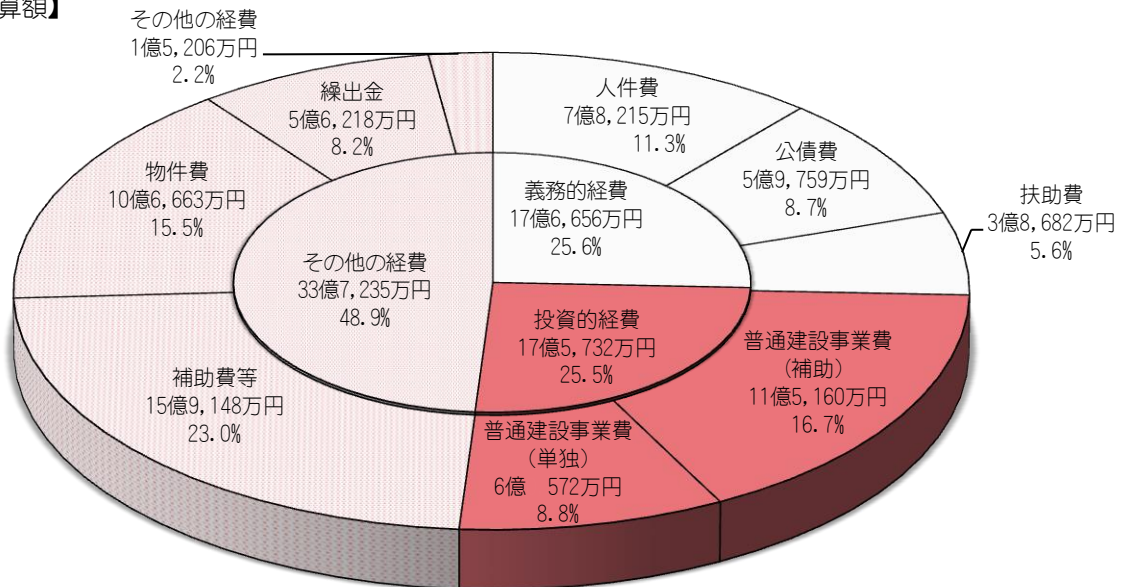
■一般会計 歳出 (出ていくお金)

●性質別

歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項 目		平成 28 年度予算額 (構成比率)	平成 27 年度予算額 (構成比率)	摘 要
義務的経費	人 件 費	7 億 8,215 万円 (11.3%)	7 億 7,889 万円 (13.4%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公 債 費	5 億 9,759 万円 (8.7%)	6 億 4,251 万円 (11.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶 助 費	3 億 8,682 万円 (5.6%)	3 億 9,694 万円 (6.9%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費 (補助)	11 億 5,160 万円 (16.7%)	5 億 6,348 万円 (9.7%)	建設事業のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施工する事業の経費
	普通建設事業費 (単 独)	6 億 572 万円 (8.8%)	6 億 8,521 万円 (11.8%)	建設事業のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施工する事業の経費
	災 害 復 旧 事 業	- (-)	- (-)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため施工する事業の経費
その他の経費	補 助 費 等	15 億 9,148 万円 (23.0%)	9 億 56 万円 (15.5%)	報奨金、損害保険料、負担金・補助金、公課費などの経費
	物 件 費	10 億 6,663 万円 (15.5%)	10 億 8,232 万円 (18.7%)	賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、低額備品などの経費
	繰 出 金	5 億 6,218 万円 (8.2%)	5 億 4,757 万円 (9.4%)	特別会計などへ支出する経費
	そ の 他 の 経 費	1 億 5,206 万円 (2.2%)	2 億 419 万円 (3.5%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合 計		68 億 9,623 万円 (100.0%)	58 億 167 万円 (100.0%)	前年比 10 億 9,456 万円増

【平成 28 年度予算額】



●性質別歳出内訳 (平成 28 年度予算と前年度予算との比較)

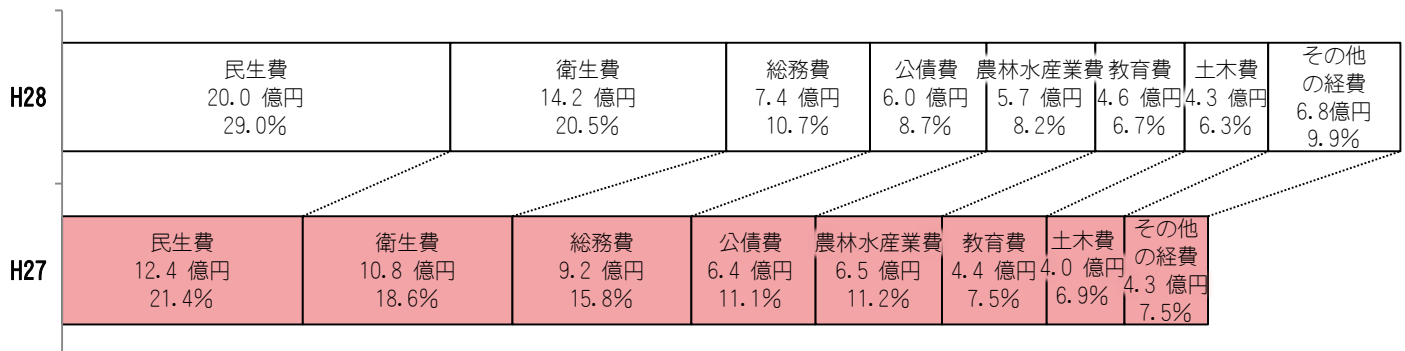
	人件費	公債費	扶助費	投資的経費	補助費等	物件費	その他の経費
H28	7.8 億円 11.3%	6.0 億円 8.7%	3.9 億円 5.6%	17.6 億円 25.5%	15.9 億円 23.0%	10.7 億円 15.5%	7.1 億円 10.4%
	義務的経費			投資的経費		その他の経費	
H27	7.8 億円 13.4%	6.4 億円 11.1%	4.0 億円 6.9%	12.5 億円 21.5%	9.0 億円 15.5%	10.8 億円 18.7%	7.5 億円 12.9%

●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

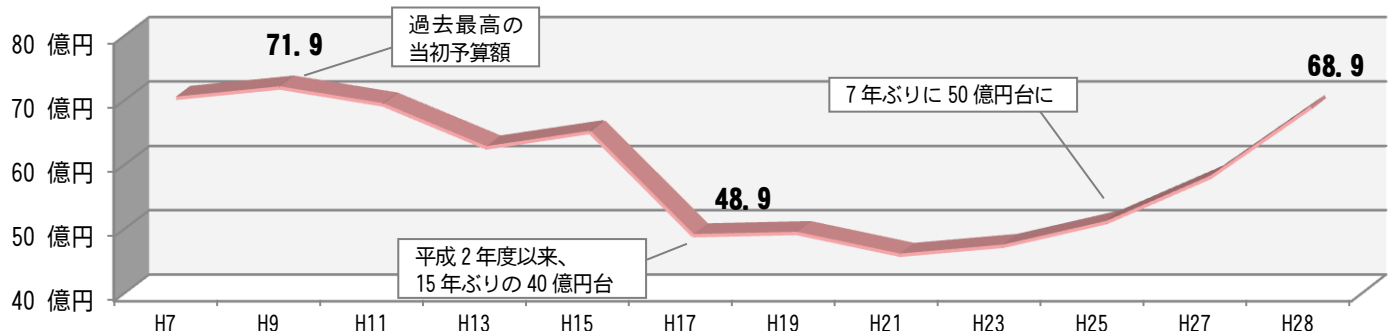
項目	平成 28 年度予算額 (構成比率)	平成 27 年度予算額 (構成比率)	摘 要
民 生 費	19 億 9,694 万円 (29.0%)	12 億 3,899 万円 (21.4%)	老人福祉や障がい者福祉、保育所の運営などの社会保障にかかる経費
衛 生 費	14 億 1,761 万円 (20.5%)	10 億 7,937 万円 (18.6%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
総 務 費	7 億 4,000 万円 (10.7%)	9 億 1,790 万円 (15.8%)	情報通信基盤や再生可能エネルギー施設の維持管理、行政事務などにかかる経費
公 債 費	5 億 9,764 万円 (8.7%)	6 億 4,256 万円 (11.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
農 林 水 産 業 費	5 億 6,439 万円 (8.2%)	6 億 5,181 万円 (11.2%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
教 育 費	4 億 6,325 万円 (6.7%)	4 億 3,776 万円 (7.5%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
土 木 費	4 億 3,398 万円 (6.3%)	3 億 9,846 万円 (6.9%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
消 防 費	3 億 4,098 万円 (4.9%)	2 億 7,764 万円 (4.8%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
議 会 費	6,939 万円 (1.0%)	7,514 万円 (1.3%)	議会の運営にかかる経費
その他の経費	2 億 7,205 万円 (4.0%)	8,204 万円 (1.4%)	商工費、労働費、諸支出金、予備費などの経費
合 計	68 億 9,623 万円 (100.0%)	58 億 167 万円 (100.0%)	前年比 10 億 9,456 万円増

●目的別歳出内訳 (平成28年度予算と前年度予算との比較)



■一般会計当初予算額の推移

平成7年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしました。平成9年度の71億9,000万円を最高に右肩下がりに転じ、平成19年度以降は50億円を割り込む水準となっていました。平成25年度に7年ぶりに50億円台となり、今年度の当初予算は昨年度に比べ約10.9億円増加し68.9億円となりました。



予算総額の132億3,958万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

I いきいきと輝き続ける“ひと” 67億1,684万円

1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援 2億3,658万円

(1) 子育て環境の充実
2億3,658万円

児童館の運営	1,175万円
児童福祉の充実	1億 119万円
保育所の充実	1億2,365万円

■ 主な事業と予算

- 保育園、小学校の連携を一層促進し、就学前の子どもの成長を支えるとともに、小学校への円滑な就学を図ります。
- 食育推進計画に基づき、地域特性を活かした「食育」を推進します。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 妊産婦への助成や乳幼児等への医療費助成などの事業により子育てを支援します。
- 保育所、児童館等の運営について、さらなる充実を図ります。

● 重点的に実施する事業

【拡充】 マタニティーライフサポート事業 200万円〈健康福祉課〉

安心して子どもを産むことができる環境づくりを推進するため、妊婦健診時の交通費等助成に加え、今年度から出産準備等のため宿泊施設を利用した宿泊費用にも助成します。

○対象者

町内に住所を有し、生活している妊婦で、母子健康手帳の交付を受けた人

○助成額

- ・妊婦健診時の交通費等 50,000円（一律）
- ・出産準備時の宿泊費用 10,000円（上限）



プレママ・
新米ママ教室

くずまキッズ予防接種助成 400万円〈健康福祉課〉

下記助成対象ワクチンの接種費用に対し、くずまき商品券で助成します。

○助成対象ワクチン及び対象者

- ・ロタワクチン（生後6週～24週又は32週）
- ・みずぼうそう（3歳～就学前、高校3年生）
- ・おたふく風邪（1歳～就学前、高校3年生）
- ・麻疹風疹（高校3年生）
- ・B型肝炎（0歳～就学前）
- ・インフルエンザ（0歳～高校3年生、1歳未満の子どもがいる父母）

幼児バイオリン学習事業

149万円〈教育委員会〉

保育園・児童館の年長児を対象にバイオリン学習を行うことで、音感教育や情操教育の一助とするとともに、演奏が難しい楽器に取り組むことで、辛抱強さや継続性の大切さを育みます。

2 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成 10億4,390万円

(1) 教育の充実 8億6,550万円	小中学校教育の充実 8億5,048万円 高等学校教育の充実 1,502万円
(2) 生涯学習の充実と文化の継承 3,765万円	生涯学習の充実と文化の継承 3,765万円
(3) 生涯スポーツ・レクリエーションの推進 1億4,075万円	生涯スポーツ・レクリエーションの推進 1億4,075万円

■ 主な事業と予算

- 学校教育では、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を生かした教育を推進します。また、安全安心な教育環境の構築のため、学校施設等の整備に努めます。
- 希望郷いわて国体の開催に向け、総合運動公園の各種設備の整備・改修やプレ大会の開催により、町民の機運醸成を図るとともに、より一層の生涯スポーツの推進に努めます。

● 重点的に実施する事業

【新規】教員住宅整備事業

4,000万円〈教育委員会〉

教職員が町内に在住して、教育活動に専念できる環境を構築し、地域に根ざした教育の充実を図るために、新たに教員住宅を整備します。

【事業内容】

- 集合住宅（木造2階建て）1棟
1LDKタイプ6室

【新規】教育用パソコン更新事業

390万円〈教育委員会〉

教育の現場で情報通信技術（ICT）を有効に活用し、子どもたちがわかりやすい授業や、一人ひとりの能力や特性に応じた学び、さらには子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な学びの実現を目指します。

【事業内容】

- 児童・生徒用タブレット型パソコン及び教員用デスクトップ型パソコンの整備

【新規】江刈小学校備品整備事業

1,000万円〈教育委員会〉

江刈小学校の校舎改築に伴い、新たに学校備品を整備します。

【事業内容】

- 図書室書架、パソコン用テーブル、各室収納棚、教員用机・イス、会議室机・イス、教壇、保健室ベット、耐火金庫など

【拡充】学力向上支援員

710万円

【拡充】学校教育アドバイザー

70万円

特別教育支援員

304万円

〈教育委員会〉

小・中学校における児童・生徒の学力向上、教員の指導力向上、きめ細やかな学習支援や生徒指導を目的として各支援員等を配置します。

【事業内容】

- 学力向上支援員 3名
(小屋瀬小、江刈小、五日市小)
- 学校教育アドバイザー 1名
- 特別支援教育支援員 3名
(葛巻小、吉ヶ沢小、江刈小)

【拡充】山村留学事業

466万円〈教育委員会〉

大自然に囲まれた葛巻町のフィールドを活用し、高校生活の中で「葛巻でしかできない」体験を経験させるべく、全国から葛巻高校の入学生を募集し、山村留学生として受け入れます。

【事業内容】

- 山村留学生の募集 56万円
- 受入体制の確保 410万円

【新規】総合運動公園野球場改修事業

6,658万円〈教育委員会〉

10月に開催される希望郷いわて国体軟式野球競技の会場となる、町野球場のスコアボードをフルカラーLED式への改修とグラウンドの土の入れ替え舗装を行うなど、万全な施設環境を整え国体開催を迎える準備を進めます。

【事業内容】

- スコアボード改修工事
- グラウンド舗装工事
- 球場入口L型擁壁修繕工事
- ナイター照明器具交換修繕工事
- 多目的グラウンドトイレ改修工事

【新規】下宿費助成事業

36万円〈教育委員会〉

葛巻高校の入学生が町内に下宿した場合に、下宿費用の一部を助成します。

【事業内容】

- 下宿費用の1/2を助成します。
(ただし、月額30,000円を上限とします。)

【拡充】希望郷いわて国体葛巻町実行委員会補助金

1,720万円〈教育委員会〉

10月に開催される希望郷いわて国体において、正式種目の軟式野球競技、デモンストレーションスポーツのネオホッケー競技の会場地として、万全の体制とおもてなしの心を持って進め、国体の成功と生涯スポーツの振興に努めます。

【事業内容】

- 本大会の運営(軟式野球)
- デモスポの運営(ネオホッケー)
- 啓発事業(歓迎のぼり、街路灯フラッグ等)

くずまき町で開催！ みんなで成功させよう

軟式野球競技

【正式種目・成年男子】

【会期】平成28年10月2日(日)～4日(火)
【会場】葛巻町総合運動公園野球場



ネオホッケー競技

【デモンストレーションスポーツ】

【会期】平成28年10月9日(日)
【会場】葛巻町社会体育館



● その他の主な事業

- | | | |
|----------------|---------|---------|
| ● 高等学校教育振興事業 | 1,000万円 | (教育委員会) |
| ● 心の教室相談員 | 96万円 | (") |
| ● 小学校・中学校管理経費 | 4,696万円 | (") |
| ● 生涯学習推進事業費 | 184万円 | (") |
| ● 文化財保護事業 | 117万円 | (") |
| ● 放課後子ども教室推進事業 | 93万円 | (") |

3 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり 53億6,970万円

(1) 保険・医療の充実 36億1,602万円	健康づくりの推進	9,502万円
	医療の確保	19億9,730万円
	国民健康保険の充実	15億2,370万円
(2) 福祉の充実 17億5,368万円	地域福祉の充実	1億1,664万円
	高齢者福祉の充実	13億6,707万円
	障害者福祉の充実	2億6,997万円

■ 主な事業と予算

- 各種予防ワクチン接種費用への助成を行い、疾病の予防に努めます。
- 若年層へのうつスクリーニングを実施するとともに、「こころの健康づくり連絡会」と連携し、自殺予防対策を推進します。
- 医療機関等と連携し、生活習慣病予防や介護予防を重視した健康相談事業等を推進します。
- 後期高齢者医療事業の安定した運営に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び介護保険事業に係る各計画に基づき事業を推進します。

● 重点的に実施する事業

【継続】 葛巻病院改築事業 22億円〈政策秘書課〉

町民が将来にわたり安心して医療を受けられるよう葛巻病院の新規建設を進めるとともに、既存病院の解体工事等の設計を行います。

【施設概要】

- 構 造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
一部4階建て
- 診療科 5科（現行どおり）
- 病床数 60床（一般42床、療養18床）

【新規】 養護老人ホーム葛葉荘改築事業 9億2,046万円〈健康福祉課〉

町民が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けることができるよう、築42年を経過し、老朽化が進む養護老人ホーム「葛葉荘」の改築を行い、入所者の生活環境等の改善を図ります。

【事業内容】

- 本体工事 8億5,000万円
- 工事監理 1,000万円
- 設備・備品等 6,046万円

【新規】 生活習慣病予防健診無料化 358万円〈健康福祉課／住民会計課〉

生活習慣病の重症化の予防や医療費の伸びを抑制するため、健診の受診料（自己負担）を無料化することにより、受診率の向上や病気の早期発見・早期治療を促すとともに、保健指導を充実し、「自分の健康は自分でつくるもの」という意識の定着に努めます。

なお、採血や尿検査などの特定健診については、各保険者が負担しなければならないため、社会保険の家族の受診料は有料となります。

看護職員等養成就学資金貸付金 440万円〈健康福祉課〉

将来、葛巻町内において医療・保健・福祉サービス等に従事する看護師など技術職員の確保を図るため、修学資金の貸し付けを行います。

- 貸付額等 学費：月額10万円以内
(薬剤師：月額20万円以内)
入学金：35万円以内
- 貸付利子 無利子
- 貸付期間 修学年限を超えない期間
- 償還免除 町内指定施設で一定期間勤務した場合、一部又は全部を免除

【継続】 臨時福祉給付金給付事業

1,010万円〈健康福祉課〉

平成26年4月からの消費税率の引き上げに伴い、所得の低い方々への負担を軽減するため、臨時福祉給付金を支給します。

【給付額】

○給付対象者1人につき 3千円

【給付対象者】

○給付対象者は平成28年度分の町県民税の課税や扶養の状況などにより決定されます。

【新規】 年金生活者等支援臨時福祉給付金

450万円〈健康福祉課〉

賃金引き上げの恩恵が及びにくい障害年金や遺族基礎年金を受給されている方に対して、年金生活者等支援臨時福祉給付金を支給します。

【給付額】

○給付対象者1人につき 3万円

【給付対象者】

○平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、障害・遺族基礎年金等を受給されている方

● その他の主な事業

● 生活習慣病予防事業	2,343万円	(健康福祉課)
● 通院バス運行事業	2,502万円	(〃)
● めくもり助成事業	400万円	(〃)
● 地域安心生活支援員	360万円	(〃)

4 協創のまちづくりの推進 1億 560万円

(1) 協働のまちづくり
6,666万円

住民参画の推進

6,666万円

(2) 男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会の推進

■ 主な事業と予算

- 様々な行政課題の解決や魅力的なまちづくりについて、広く町民のみなさんから参画していただき、町民と行政とが協働してまちづくりに取り組むことを推進します。

● 重点的に実施する事業

【新規】 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援業務

1,000万円〈総務企画課〉

継続的な集落の維持・活性化のため、基幹集落と周辺集落との間で「集落ネットワーク圏」を形成し、日常生活支援機能の充実と地域振興を図ります。

【事業内容】

○集落ネットワーク圏形成業務

【継続】 地区センター駐車場舗装整備事業

1,600万円〈教育委員会〉

自治会活動の活性化と施設管理の省力化、地域住民の利便性向上を図るため、地区センター駐車場の舗装工事を実施します。

【事業内容】

○地区センターの駐車場舗装工事

II 誰もが住みたくなる“まち” 21億7,376万円

1 快適に暮らせる生活環境の創出 5億2,457万円

(1) 生活環境の整備 12億2,952万円	住環境の整備	2,015万円
	水道施設の整備	7億5,081万円
	生活排水処理施設の整備	3億1,320万円
	環境衛生の充実	1億4,536万円
(2) 交通・通信ネットワークの整備 5億3,896万円	道路交通網の整備	4億6,974万円
	生活交通対策の推進	1,619万円
	地域情報化の推進	5,303万円

■ 主な事業と予算

- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を実施します。
- 町道整備、道路維持修繕事業、安全施設設置事業や橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、効率的な除雪体制により住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村と連携しながら路線維持に努めます。

● 重点的に実施する事業

【継続】 江川簡易水道整備事業 4億8,030万円〈建設水道課〉

安全で安定的な給水を確保するため、江川簡易水道施設の改良整備をおこないます。

- 【施工箇所】
- 日渡地区
 - 山岸地区
 - 五日市地区
 - 畑地区
 - 寺田地区

【継続】 町整備型浄化槽整備事業 3,815万円〈建設水道課〉

快適で衛生的な生活環境の推進と、生活排水による公共水域の水質の汚濁を防止するため、し尿と生活雑排水を併せて処理する、合併処理浄化槽の整備を推進します。

- 【事業内容】
- 浄化槽の新設工事 25基

水洗化普及支援事業 1,150万円〈建設水道課〉

快適で衛生的な生活環境の推進と、水質環境の保全を図るため、農業集落排水施設への接続や浄化槽の設置など、水洗化工事に要する経費の一部を助成します。

- 【補助金額】
- 一般世帯
補助対象額の1/2、37万5千円を限度
 - 高齢者、障害者世帯等
補助対象額の2/3、50万円を限度

【新規】 道路長寿命化修繕工事 3,000万円〈建設水道課〉

全国的に老朽化した道路施設が増加し、長寿命化修繕工事の実施が急務となっています。当町でも道路ストック総点検を実施しており、その結果を基に劣化の激しい箇所から舗装更新等の工事を実施します。

- 【事業内容】
- 舗装版打換工事（町道小屋瀬塚森線ほか）

【継続】 町道茶屋場田子線道路改良事業
1億4,500万円〈建設水道課〉

バイパス機能を備えた町中心部の環状道路として馬淵川堤防を拡幅整備し、町中心部の混雑解消と防災対策の強化を図ります。

- 【事業内容】
- 用地取得
 - 物件移転補償
 - 道路拡幅工事

【継続】 町道葛巻浦子内線改良事業
2,700万円〈建設水道課〉

町中心部と浦子内地区を結ぶ唯一の路線であり、大橋の老朽化も進んでいるため橋の架け替え及び道路拡幅を行います。

- 【事業内容】
- 用地取得
 - 物件移転補償

【継続】 町道愛羅瀬線改良事業
3,300万円〈建設水道課〉

町営住宅及びグループホームの開設に伴い交通量が増えたことから、道路改良工事を行い利便性や安全性の向上を図ります。

- 【事業内容】
- 設計業務
 - 物件移転補償
 - 用地取得
 - 道路改良工事

【新規】 小苗代橋長寿命化修繕工事
1,900万円〈建設水道課〉

橋りょう本体の延命を図り、将来予測される膨大な修繕費用を軽減するため、橋りょう長寿命化修繕計画に基づいた修繕工事を行います。

- 【事業内容】
- 小苗代橋の長寿命化修繕工事

【新規】 町営住宅長寿命化修繕計画策定業務
400万円〈建設水道課〉

町営住宅の長寿命化を図るために現状調査を実施して、効率的かつ効果的な修繕計画を策定し、住宅の修繕等を行い入居者の安全で安心な生活環境の整備を図ります。

- 【事業内容】
- 町営堀ノ内住宅3棟、町営田ノ沢住宅14棟
 - 町営鳩岡住宅32棟



入居者の生活環境の向上を図ります

【新規】 道路施設（橋りょう）定期点検業務
1,000万円〈建設水道課〉

全国の道路施設（橋りょう・トンネル等）を5年に1度、定期的に点検を行うことが義務付けられたことにより行うもので、道路施設の劣化事故の未然防止を図ります。

- 【事業内容】
- 橋りょう定期点検

【新規】 埋立処分場適正化検討業務
230万円〈農林環境エネルギー課〉

現在の埋立処分場は平成38年度まで埋め立て可能な状況となっておりますが、今後より長く使用していくため、施設の延命化に向けた調査を行います。

- 【事業内容】
- 状況分析
 - 埋立形状の見直し

その他の主な事業

● 廃棄物処理業務	5,329万円	(農林環境エネルギー課)
● し尿処理事業費	2,971万円	(〃)
● ごみ焼却経費	2,177万円	(〃)
● 地域情報基盤の管理運営	3,899万円	(総務企画課)
● バス路線運行拡大支援対策事業	1,335万円	(〃)
● 広域生活バス路線運行維持対策費	284万円	(〃)

2 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり 1億 337万円

(1) 自然環境の保全と土地の
利活用 4,755万円

土地の利活用等

4,755万円

(2) 再生可能エネルギーの推
進 5,582万円

新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発

5,582万円

■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組みます。
- 新エネルギー等の導入や環境に配慮した取組を町民や事業者が実感できるような事業を推進します。

● 重点的に実施する事業

【新規】 防災用太陽光発電設備・急速充電器設置工事
4,900万円〈農林環境エネルギー課〉

災害時や停電時でも電気自動車への充電を可能とするために、太陽光発電からの電力供給を受ける電気自動車用急速充電器の設置を行います。

● その他の主な事業

- 中山間地域総合整備事業
… 2,250万円（建設水道課）
- エコ・エネ総合対策事業
…… 300万円（農林環境エネルギー課）

3 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり 3億4,935万円

(1) 防災対策、消防・救急体
制の充実 3億4,098万円

防災対策、消防・救急体制の充実

3億4,098万円

(2) 交通安全・防犯・青少年
問題対策の充実 837万円

交通安全・防犯・青少年問題対策の充実

837万円

■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止及び応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 関係団体との緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 事故や犯罪がなく誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進に向け、町民の意識啓発活動に取り組みます。

●重点的に実施する事業

【新規】高規格救急自動車整備事業 4,370万円〈総務企画課〉

安心・安全なまちづくりのため、町民の生命を守るうえで重要な救急業務に対し、迅速かつ的確に対処することができるよう、購入から一定年数が経過した救急車を更新します。



高規格救急車には救急救命士による様々な処置が行える資機材が積載されます

【継続】消防団活動用整備品整備事業 200万円〈総務企画課〉

複雑多様化する災害に対する消防団活動において、消防団員の受傷を防止するため、消防団員の個人装備品の充実、強化及び更新を進めます。

【事業内容】

- 消防活動用黒長
- ヘッドライト
- 防火・耐切創手袋

消防団員確保対策助成金 190万円〈総務企画課〉

機能別団員及び青年層に対して消防団活動への理解と協力を図り、地域に即した消防団編成を踏まえ、消防団員確保対策を推進します。

●その他の主な事業

● 盛岡地区広域消防組合負担金	2億 957万円	(総務企画課)
● 消防団員確保対策助成金	190万円	(")
● 災害対策経費	385万円	(")
● 防犯灯設置工事	200万円	(")

【新規】救助資機材搭載型小型ポンプ積載車整備事業 1,350万円〈総務企画課〉

あらゆる災害に対し、迅速かつ的確に対処するため、エンジンカッターやチェーンソー、担架、AED等の資機材を搭載した小型ポンプ積載車1台を更新します。

【事業内容】

- 救助資機材搭載型小型ポンプ積載車1台
- 6分団に配備

【新規】消防団屯所整備事業 2,250万円〈総務企画課〉

第6分団の救助資機材搭載型小型ポンプ積載車の更新に併せ、老朽化した既存の屯所を改築します。

耐震性能及び備蓄倉庫を備え、地域の防災拠点としての機能や、他地域における災害時の後方支援拠点としての機能を付加した屯所とします。

【事業内容】

- 第6分団屯所の全部改築

支部操法大会出場補助金(隔年開催) 100万円〈総務企画課〉

葛巻町消防操法競技会において、ポンプ車の部及び小型ポンプの部の上位2分団に対し、岩手地区支部大会の出動補助金を交付します。

【事業内容】

- 各隊25万円の助成(4隊出場予定)



消防団の訓練風景

III 地球資源を生かす“しごと” 8億4,851万円

1 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現 4億2,507万円

(1) 農業の振興 3億1,500万円	畜産振興	1億7,917万円
	農業振興	1億 21万円
	農業施設等の整備	3,562万円
(2) 林業の振興 1億 543万円	林業振興	1億 543万円
(3) 農林産物加工の振興 464万円	加工施設の充実	464万円

■ 主な事業と予算

- 農業振興では、園芸作物の生産拡大、経営所得安定対策の推進を図るなど、農家の所得向上に努めます。
- 畜産振興では、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛及び肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興では、豊かな森林環境の将来にわたっての保全と利用拡大を推進します。

● 重点的に実施する事業

【新規】 輸入受精卵移植推進事業 300万円〈農林環境エネルギー課〉

受精卵移植技術を活用し、乳用牛の改良及び増殖を促進するとともに、畜産経営の安定化を図るため、乳用牛飼養農家が輸入受精卵を購入するための費用の一部を助成します。

【事業実施主体】

新岩手農協乳成分改善モデル事業利用組合

【補助率】

輸入受精卵の購入費用の2分の1（ただし、補助金の上限は1個あたり20万円）

育成牛預託助成事業

1,190万円〈農林環境エネルギー課〉

町内の酪農家の（一社）葛巻町畜産開発公社への育成牛預託を促進することで、酪農経営の機能分担方式の推進を図ります。

【事業内容】

畜産開発公社へ育成牛を預託する場合、1頭につき1日100円を助成

【新規】 畜産クラスター運営費補助金 270万円〈農林環境エネルギー課〉

畜産の収益性向上を図るための畜産クラスター事業の実施に必要な畜産関係者で組織する畜産クラスター協議会の立ち上げ、地域の畜産の収益性向上のための事業計画の策定等について検討します。

【事業内容】

畜産クラスター協議会の運営費を助成します。（視察旅費、事務委託料等）



収益性の高い酪農経営の確立を目指します

**【新規】 新しくまき型畜産体制推進研修助成
150万円〈農林環境エネルギー課〉**

新葛巻型酪農構想の実現に向けて、これからの地域の畜産を支える人材の育成を目的として、後継者等が短期又は長期の研修を行う場合の経費の一部を助成します。

【事業内容】

葛巻町内に就農又は就農予定の後継者等が、短期又は長期の研修を行う場合の旅費等を助成（ただし、補助金の上限は30万円）

**【継続】 粗飼料生産基盤除染対策業務
1億500万円〈農林環境エネルギー課〉**

福島第一原子力発電所の事故により汚染された牧草地の除染を行います。

【事業内容】

町が、作業受託者（畜産農家、畜産開発公社、岩手県農業公社等）に除染作業を委託して事業実施をします。

**【新規】 山地酪農研修センター改修事業
1,200万円〈農林環境エネルギー課〉**

酪農後継者の研修施設として運営されている山地酪農研修センターの老朽化が進んでいることから、トイレと浴室の改修工事を行います。

【事業内容】

- トイレの改修工事（水洗化工事）
- 浴室改修工事

**【新規】 バイオマス廃熱利用施設検討業務
100万円〈農林環境エネルギー課〉**

家畜糞尿などから発電を行うバイオマスプラントにおいて、副産物として発生する廃熱を、農業分野で利用する場合の、施設の仕様及び栽培する品目の調査検討を行います。

【事業内容】

- 廃熱利用施設の調査検討



家畜排せつ物のさらなる有効活用策を模索します

**【新規】 林道案内沢線法面補強工事
1,640万円〈建設水道課〉**

降雨等で崩落した林道案内沢線の法面補強工事を行い、通行する作業車両等の安全確保を図ります。

【工事箇所】

- 平船地区から吉ヶ沢地区へ連絡する林道
- 平船側からおよそ800m進んだ付近

【工事概要】

- 法面復旧工事 面積=420㎡

● その他の主な事業

- | | | |
|------------------------|---------|--------------|
| ● いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 | 1,815万円 | (農林環境エネルギー課) |
| ● 農地中間管理農地集積事業 | 800万円 | (〃) |
| ● 公有林整備事業 | 1,950万円 | (〃) |
| ● 森林保全特別対策事業 | 1,500万円 | (〃) |
| ● 町産材利用促進事業 | 300万円 | (〃) |
| ● 山のみち地域づくり交付金事業費 | 1,201万円 | (〃) |

2 交流・連携の強化による地域産業の育成 3億8,677万円

(1) 商工業の振興 6,553万円	商工業の振興	6,553万円
(2) 観光の振興 2億 235万円	観光の振興	2億 235万円
(3) 交流連携の推進 1億1,889万円	交流連携の推進	1億1,889万円

■ 主な事業と予算

- 商工業振興では、中心市街地の活性化を図るとともに、各種補助制度による商工業者の経営の持続、安定、革新を支援します。
- 人口減少対策として、移住定住を推進します。Iターン、Uターンの移住者支援を積極的に行うほか、若者や子育て世代の住まいに関する支援を重点的に行い、定住促進を図ります。

● 重点的に実施する事業

【新規】成功店モデル創出・波及事業 130万円〈総務企画課〉

商工会が商店街等にモデル的に経営改善の専門家を派遣し、個店の魅力を創出し、魅力ある個店を起点とした商店街の活性化を図ります。

【事業内容】

- スタートアップ研修
- 個店指導研修（直接指導、通信指導など）
- 成果報告会

【新規】グリーンテージ浴室改修事業 1億7,500万円〈総務企画課〉

ふれあい宿舎グリーンテージの浴室を改修し、利用者へのサービス向上による町民の憩いの場の創出及び交流人口の拡大を推進します。

【事業内容】

- 設計 11,000千円
- 工事 164,000千円

【新規】子育て世代定住促進住宅整備事業 5,000万円〈総務企画課〉

子育て世代の定住を目的とした定住促進住宅を整備します。

一定期間賃貸で入居した後、無償譲渡することにより、子育て世代の定住から永住を図ります。

【事業内容】

- 子育て世代向け住宅の整備
（戸建 3棟）

【新規】若者定住推進家賃助成 300万円〈総務企画課〉

町内のアパート等賃貸住宅に入居する若者を対象に、家賃の一部を助成し、若者の住む町としての魅力を高め定住を促進します。

【事業内容】

- 月額家賃から3万円を差引いた額の1/2をくずまき商品券で助成（上限月額1万円）

● その他の主な事業

● 台湾観光客等市場開拓事業	90万円（総務企画課）
● 快適な住まいづくり応援事業	750万円（ “ ）
● 商店等設備導入支援事業	350万円（ “ ）
● 中小企業振興資金利子補給	250万円（ “ ）
● 定住促進奨励金	400万円（ “ ）

3 地域産業を生かした企業支援と雇用の確保 1,559万円

(1) 起業支援と雇用の確保
1,559万円

起業支援と雇用の確保

1,559万円

■ 主な事業と予算

- 商工業の経営品質向上や技術の承継、後継者育成など、産業振興による地域経済の活性化を図ります。
- 町民の就労機会の確保と拡大、就労者の地元への定着を促進するため、事業主等に対する支援を行います。

● 重点的に実施する事業

くずまき型持続可能な産業づくり支援事業 350万円〈総務企画課〉

葛巻町の商工業における経営品質の向上や生産技術の継承、後継者育成等の取組を支援することにより、持続可能な産業構造及び経営体の構築を図り、産業振興による地域経済の活性化及び雇用の創出、町民所得の向上を図ります。

【事業内容】

- ものづくり・人材育成事業
- 経営品質向上事業
- 後継者育成事業
- 起業家支援事業
- 電子化推進事業
- 新分野開拓・連携支援事業

雇用促進事業補助金

1,200万円〈総務企画課〉

町内事業者が新たに町民を雇用した際に補助金を交付し、葛巻町内における雇用機会の拡大及び地域経済の活性化を図ります。

【事業内容】

- 40歳未満
給料月額の1/2 上限5万円/月
- 40～59歳未満
給料月額の1/3 上限3万円/月
- 60歳以上
給料月額の1/4 上限1.5万円/月

IV その他の行政業務 12億4,087万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済などで、総合計画の体系に分類できない業務 12億4,087万円

公債費	5億9,764万円
総務、企画、統計	4億5,840万円
税務、戸籍	6,416万円
議会、選挙、監査	8,366万円
その他	3,701万円

●重点的に実施する事業

【新規】ふるさと納税事業

220万円〈総務企画課〉

平成28年度から新たにふるさと納税のインターネット受付やクレジット決済を導入し、広く全国の方々に葛巻町へのふるさと納税をPRしていきます。

また、町の特色を生かした魅力的な返礼品を企画し、町の特産品のPRにも努めます。

【事業内容】

- ふるさと納税ポータルサイトへのエントリー
- ふるさと納税者への返礼品の贈呈

【新規】公共施設等総合管理計画策定業務

500万円〈総務企画課〉

高度成長期に集中的に整備された、公共施設や道路、水道などの各種施設について、今後一斉に更新時期を迎えることから、将来にわたる公共施設の効率的な配置、活用、維持管理を実現するため、公共施設の現況の把握、維持管理コストや更新費用の試算など、今後の公共施設配置の適正化に向けた計画を策定します。

【事業内容】

- 各種施設の現況調査・更新費用の試算
- 公共施設等総合管理計画策定

【新規】庁用車更新事業

750万円〈総務企画課〉

一定年数または一定走行距離を経過し老朽化の著しい公用車について、計画的に更新を図ります。

【新規】地域拠点施設整備基礎調査業務

100万円〈政策秘書課〉

役場庁舎を核とした公共施設の配置など、地域づくりのうえで拠点となる各種施設の適正配置について調査検討を行います。

【事業内容】

築後40年を経過し、施設及び設備共に老朽化が著しい役場庁舎の建替えと各種施設の集約に向けた課題整理及び基礎資料作成

【新規】地方公会計財務書類作成支援業務

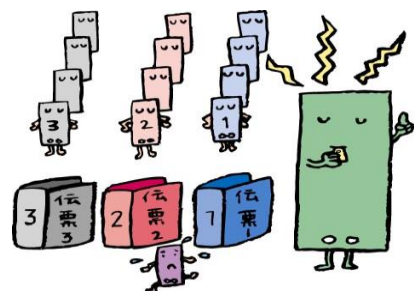
200万円〈総務企画課〉

町の財政状況や決算状況について、民間企業に準じた基準による作成された決算書類による比較を可能とすること、住民に対する町の財政状況の説明強化や行政の見える化が求められています。

これらの実現に向け、全国的な統一的基準による財務諸表の作成に向けた会計処理ルール作りを行います。

【事業内容】

- 複式簿記による決算処理の導入
- 新公会計システムの導入



複式簿記による新たな会計ルールを取り入れます。
(これまで通りの決算も継続して実施します。)

平成27年度から平成28年度に予算を繰り越して実施する事業

●主な繰越事業

くずまき型DMO形成推進事業

1,830万円〈総務企画課〉

町民や民間企業、行政が一体となり、町民自らが地域の魅力を創出し「住んでよし、訪れてよし」の豊かな観光地域づくりを行う「くずまき型DMO」の形成により、町全体の合意形成を行い、科学的データに基づく戦略策定によるプロモーション等を行うことで、くずまきファンの獲得による交流人口の増加、起業家の誘致、U・I・Jターン及び雇用促進等を推進し、地域経済の活性化を図ることを目的とします。

【事業内容】

- まちづくり協議会、ワーキンググループの設立
- データ収集、分析、戦略策定
- アイデアソン、ツアー等の開催
- まちづくり人材の育成
- 情報発信基盤の整備（SNSなど）
- 観光物産のプロモーション実施 など

江刈小学校校舎改築工事

5億7,300万円〈教育委員会〉

築52年が経過した江刈小学校の校舎を改築し、安全で安心な教育環境を整備します。

【事業内容】

- 木造2階建て 面積1,426㎡
- 建築工事 H28年4月開始
- 完成予定 H29年2月

年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業

4,496万円〈健康福祉課〉

賃金引き上げの恩恵が及びにくい高齢者の方を支援するために、「高齢者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金）」を支給します。

【給付額】

- 給付対象者1人につき 3万円

【支給対象者】

- 平成27年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、平成29年3月31日までに、65歳以上となる方

●繰越事業一覧

事業名	事業費	完了見込
情報セキュリティ強靱化対策事業	4,640万円	H28.10月
子ども子育て支援システム改修事業	50万円	H28.5月
持続可能な発展を目指す自治体会議モデル構築事業	90万円	
定住促進住宅整備工事	5,880万円	H28.12月
年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費	4,497万円	
養護老人ホーム建設敷地造成工事	2,000万円	H28.7月
清掃センター改修工事	1,200万円	H28.7月
金属圧縮機更新工事	1,582万円	H28.6月
林道鰻沢線排水路改修工事	1,830万円	H29.3月
企業立地助成金	2,000万円	H28.6月
くずまき型DMO形成推進事業	1,830万円	
町道町裏線舗装打替工事	1,370万円	H28.7月
町道茶屋場田子線道路改良事業	6,250万円	H28.12月
橋りょう長寿命化工事	400万円	H28.12月
江刈小学校校舎改築工事	5億7,300万円	H29.2月
町整備型浄化槽設置工事	860万円	H28.8月
繰越事業費 計	9億1,779万円	

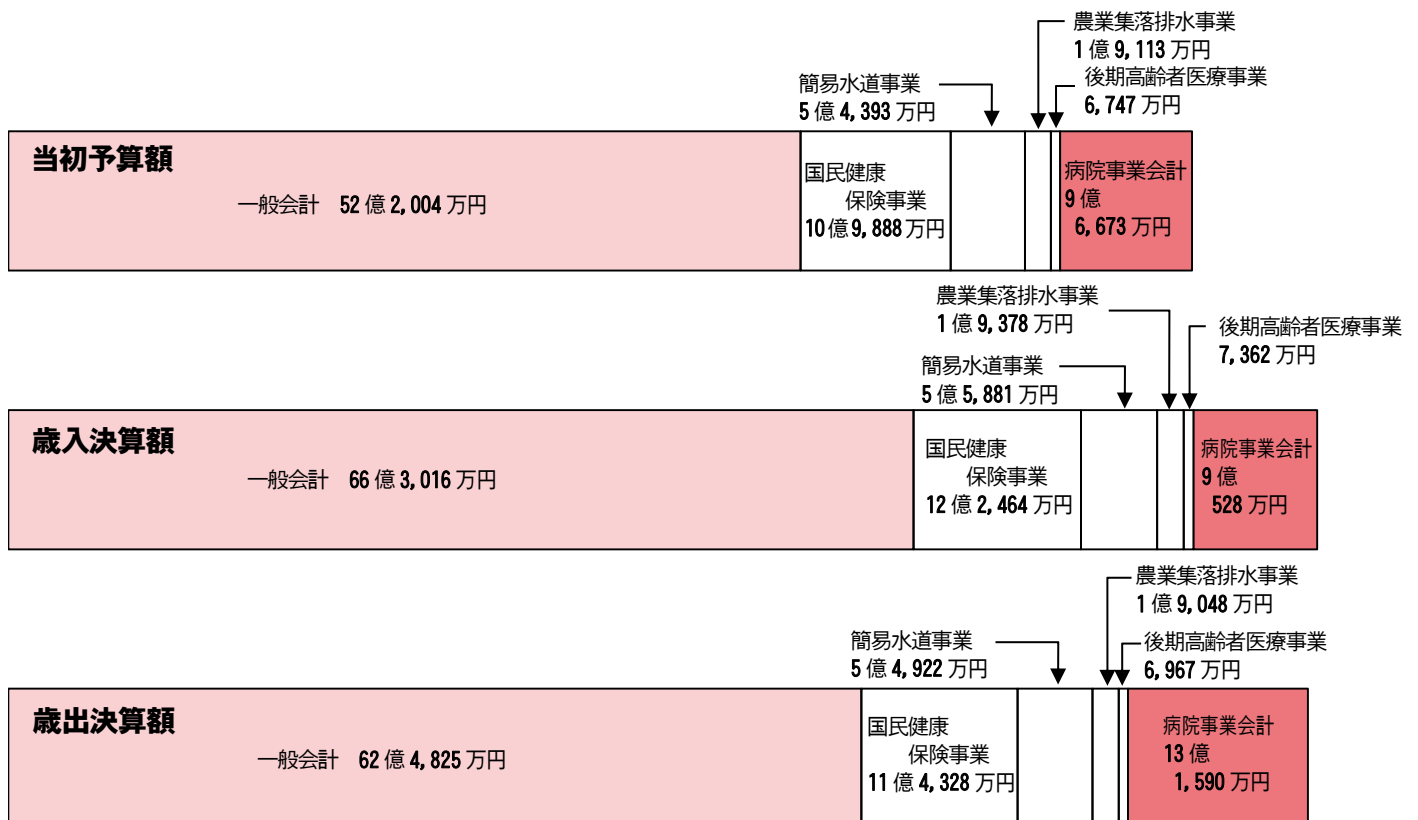
平成26年度 まちの 決算 の状況

■歳入歳出決算額

平成26年度の町の決算総額は、歳入総額95億8,629万円に対し、歳出総額95億1,680万円で、歳入歳出差引額は6,949万円（実質収支等は491万円）となっています。

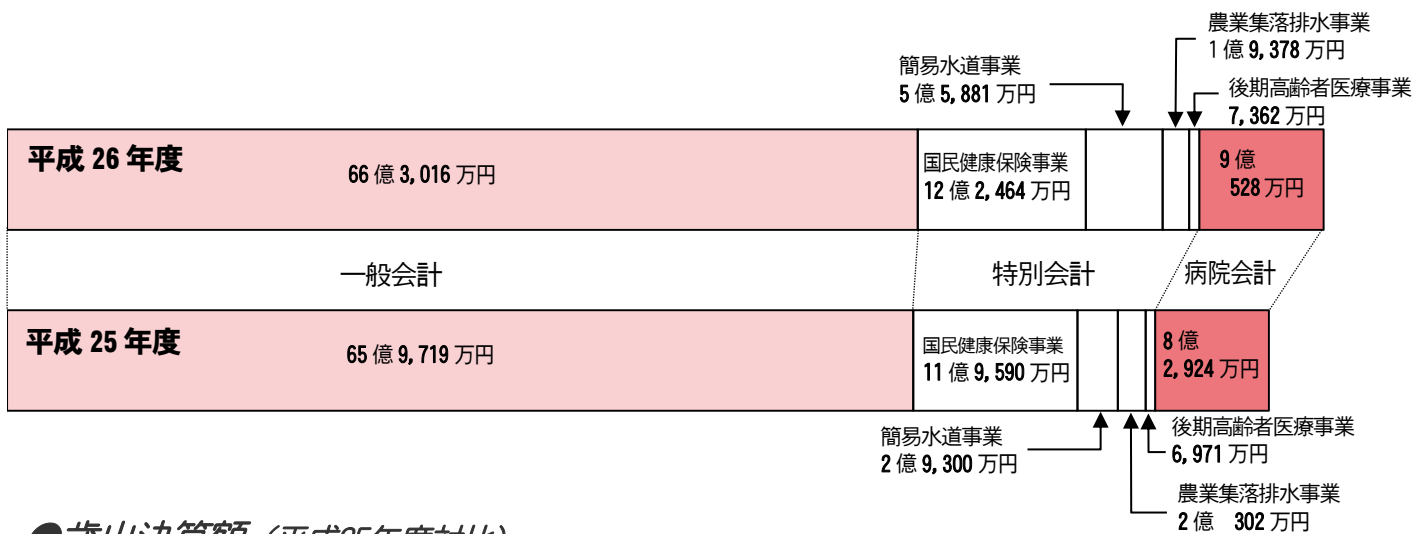
また、歳入総額を前年度と比較すると、3億9,823万円（4.3%）の増、歳出総額を前年度と比較すると、8億3,160万円（9.6%）の増となっています。

会 計 名	平成26年度 当初予算額	平成26年度 歳入決算額	平成26年度 歳出決算額	歳入歳出差引額	
一 般 会 計	52億2,004万円	66億3,016万円	62億4,825万円	3億8,191万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	10億9,888万円	12億2,464万円	11億4,328万円	8,136万円
	簡易水道事業	5億4,393万円	5億5,881万円	5億4,922万円	959万円
	農業集落排水事業	1億9,113万円	1億9,378万円	1億9,048万円	330万円
	後期高齢者医療事業	6,747万円	7,362万円	6,967万円	395万円
国民健康保険病院事業会計	9億6,673万円	9億 528万円	13億1,590円	▲ 4億1,062万円	
合 計	80億8,818万円	95億8,629万円	95億1,680万円	6,949万円	



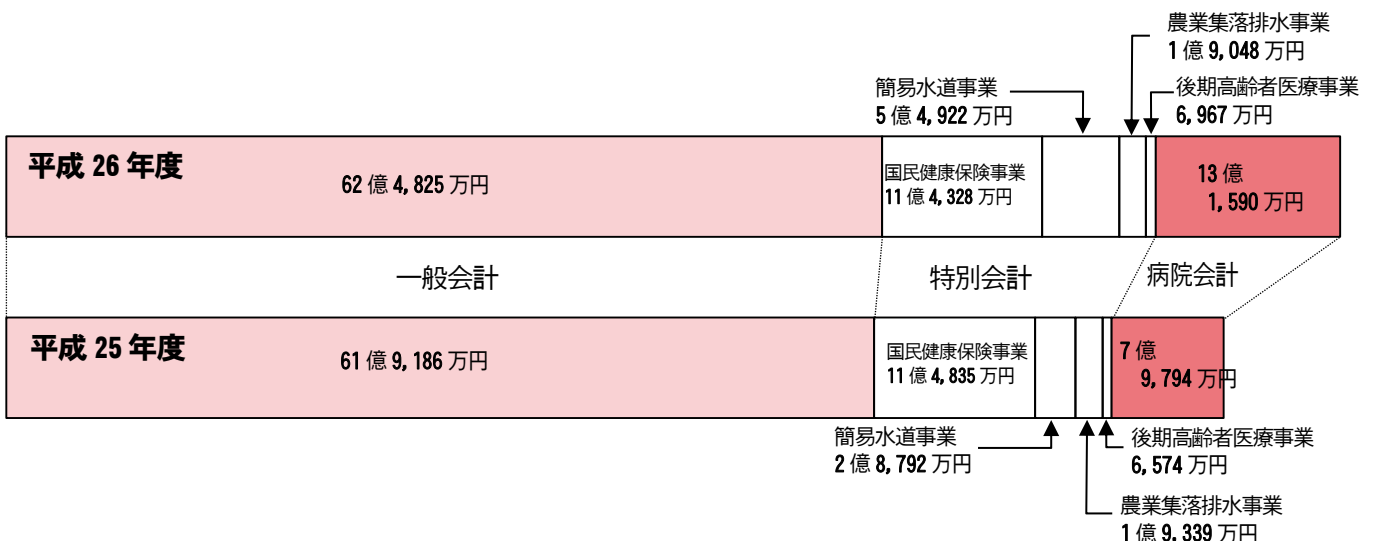
●歳入決算額 (平成25年度対比)

会計名	平成26年度	平成25年度	増減額(伸率)
一般会計	66億3,016万円	65億9,719万円	3,297万円(0.5%)
特別会計	国民健康保険事業勘定	12億2,464万円	2,874万円(2.4%)
	簡易水道事業	5億5,881万円	2億6,581万円(90.7%)
	農業集落排水事業	1億9,378万円	2億302万円(▲924万円(▲4.6%))
	後期高齢者医療事業	7,362万円	6,971万円
国民健康保険病院事業会計	9億528万円	8億2,924万円	7,604万円(9.2%)
合計	95億8,629万円	91億8,806万円	3億9,823万円(4.3%)



●歳出決算額 (平成25年度対比)

会計名	平成26年度	平成25年度	増減額(伸率)	
一般会計	62億4,825万円	61億9,186万円	5,639万円(0.9%)	
特別会計	国民健康保険事業勘定	11億4,328万円	▲507万円(▲0.4%)	
	簡易水道事業	5億4,922万円	2億8,792万円	2億6,130万円(90.8%)
	農業集落排水事業	1億9,048万円	1億9,339万円	▲291万円(▲1.5%)
	後期高齢者医療事業	6,967万円	6,574万円	393万円(6.0%)
国民健康保険病院事業会計	13億1,590万円	7億9,794万円	5億1,796万円(64.9%)	
合計	95億1,680万円	86億8,520万円	8億3,160万円(9.6%)	

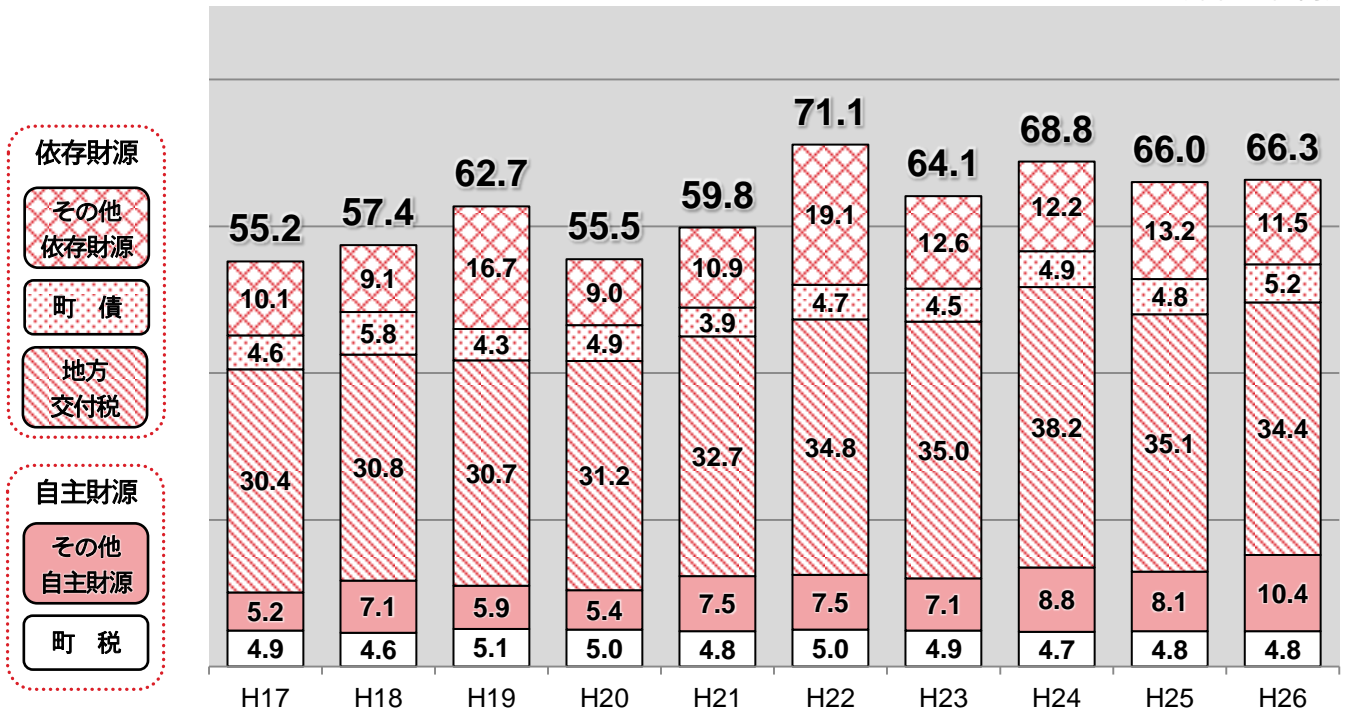


■一般会計歳入歳出決算額の推移

平成26年度の町の一般会計決算額は、歳入が66億3,016万円（前年度比3,297万円、0.5%増）、歳出が62億4,825万円（前年度比5,639万円、0.9%増）となり、歳入歳出差引額は3億8,191万円（前年度比2,342万円、5.8%減）の黒字となっています。

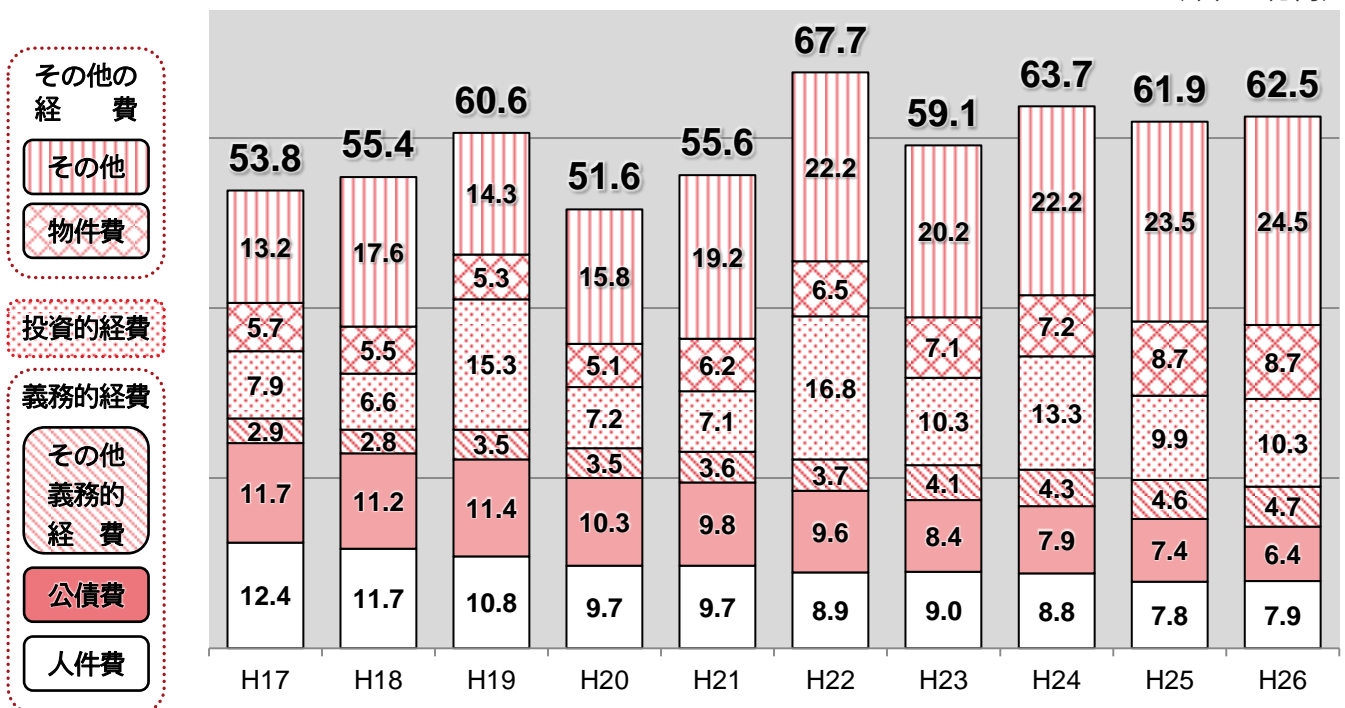
●歳入決算額の推移

（単位：億円）



●歳出決算額の推移

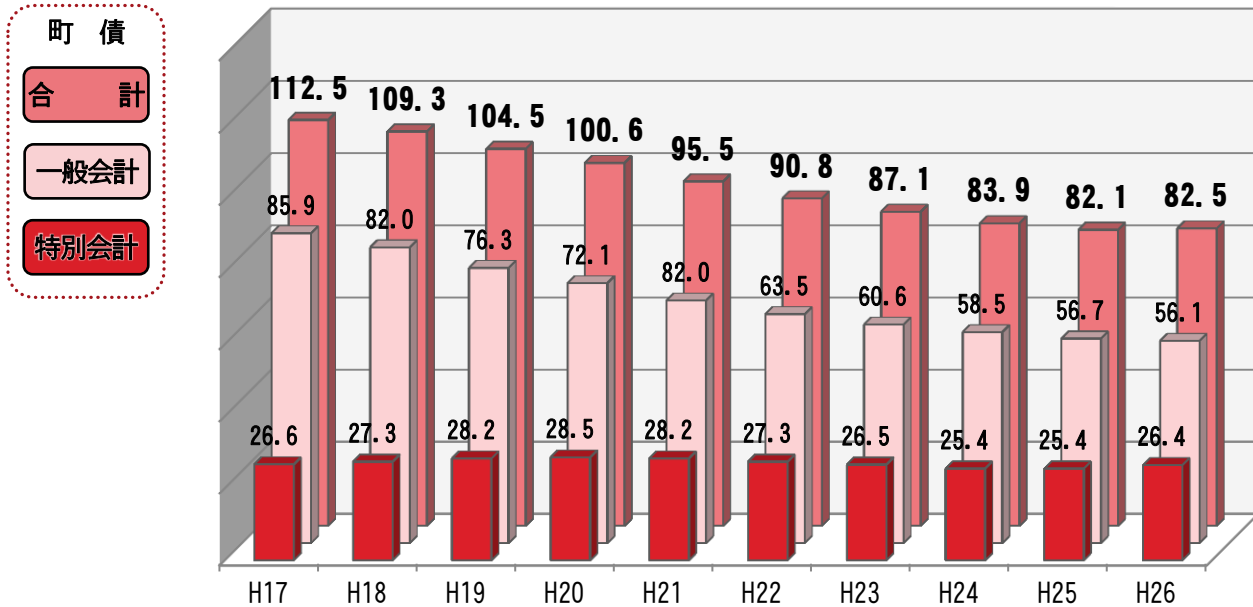
（単位：億円）



■町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。特別会計の残高は増加していますが、一般会計では平成25年度に比べ5,531万円（1.0%）の減、平成17年度と比べると30億118万円（26.7%）の減となり、町債借入残高を削減する取り組みの成果が表れています。

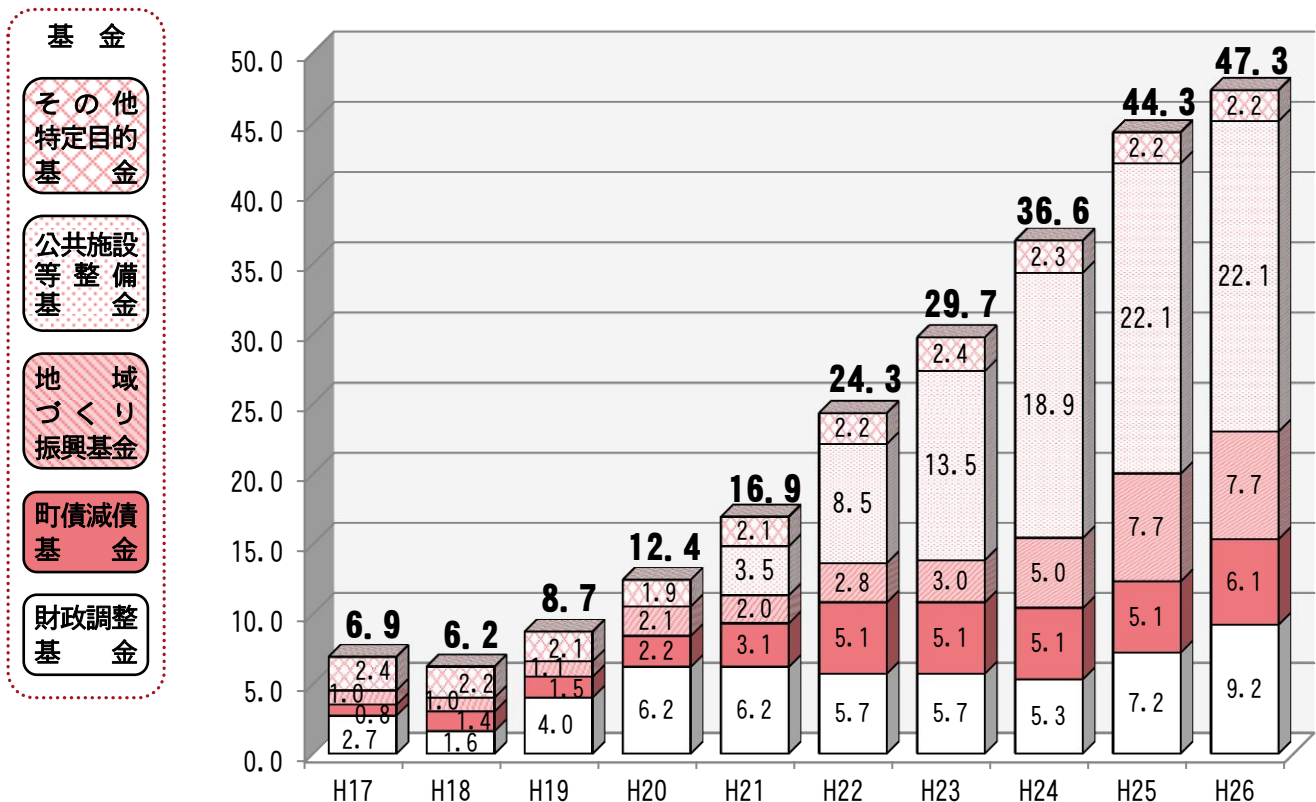
（単位：億円）



■基金残高の推移

町の貯金である基金の平成26年度末の残高総額は47億3,047万円で、前年度に比較して2億9,653万円（6.7%）の増となりました。積み立てた基金は、今後増大が見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

（単位：億円）



■まちの財政の状況

●財政指標

	平成26年度 決算 A	平成25年度 決算 B	差 引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	40.0 %
実質公債費比率	6.4 %	7.8 %	▲ 1.4	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	-	-	-	350.0 %	
財政力指数	0.14	0.14	-		
経常収支比率	83.1 %	82.1 %	1.0		

■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の平成26年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

■連結実質赤字比率

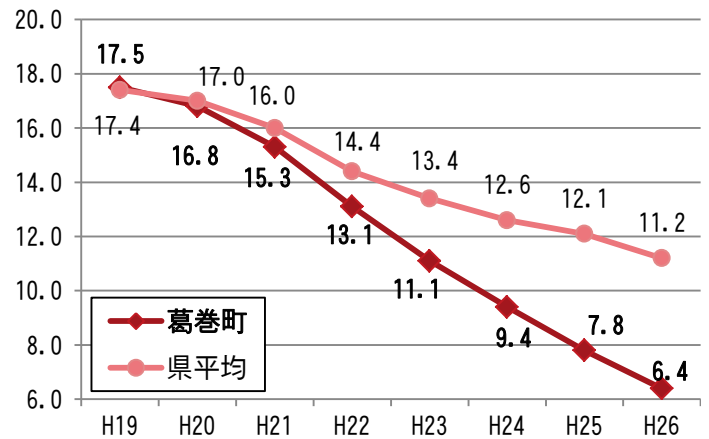
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の平成26年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債費比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

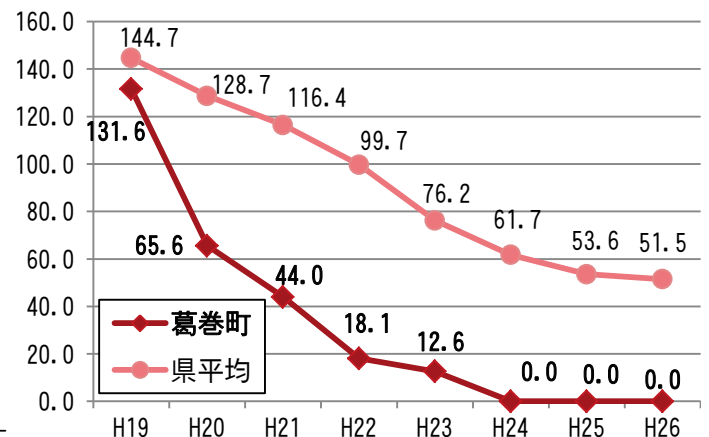
町の平成26年度における実質公債費比率は6.4%で、前年度と比較して1.4ポイント改善しています。



■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の平成26年度における将来負担比率は前年度に引き続き、比率なし（0%）となりました。



■財政力指数

財政力（※1）の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の平成26年度の財政力指数は0.14で、前年度と同値となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額（※2）の基準財政需要額（※3）に対する割合

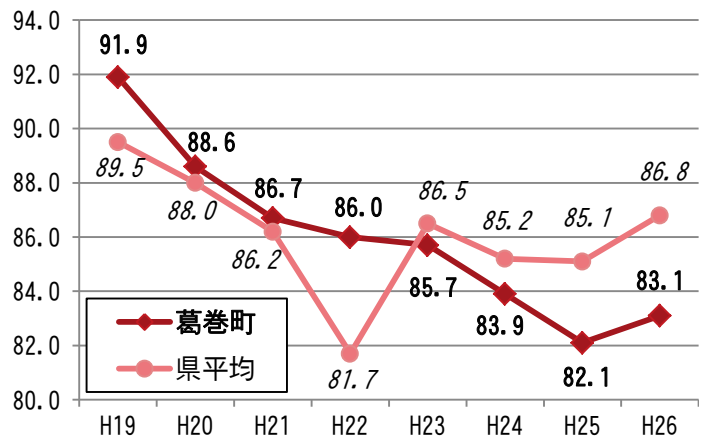
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるのであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

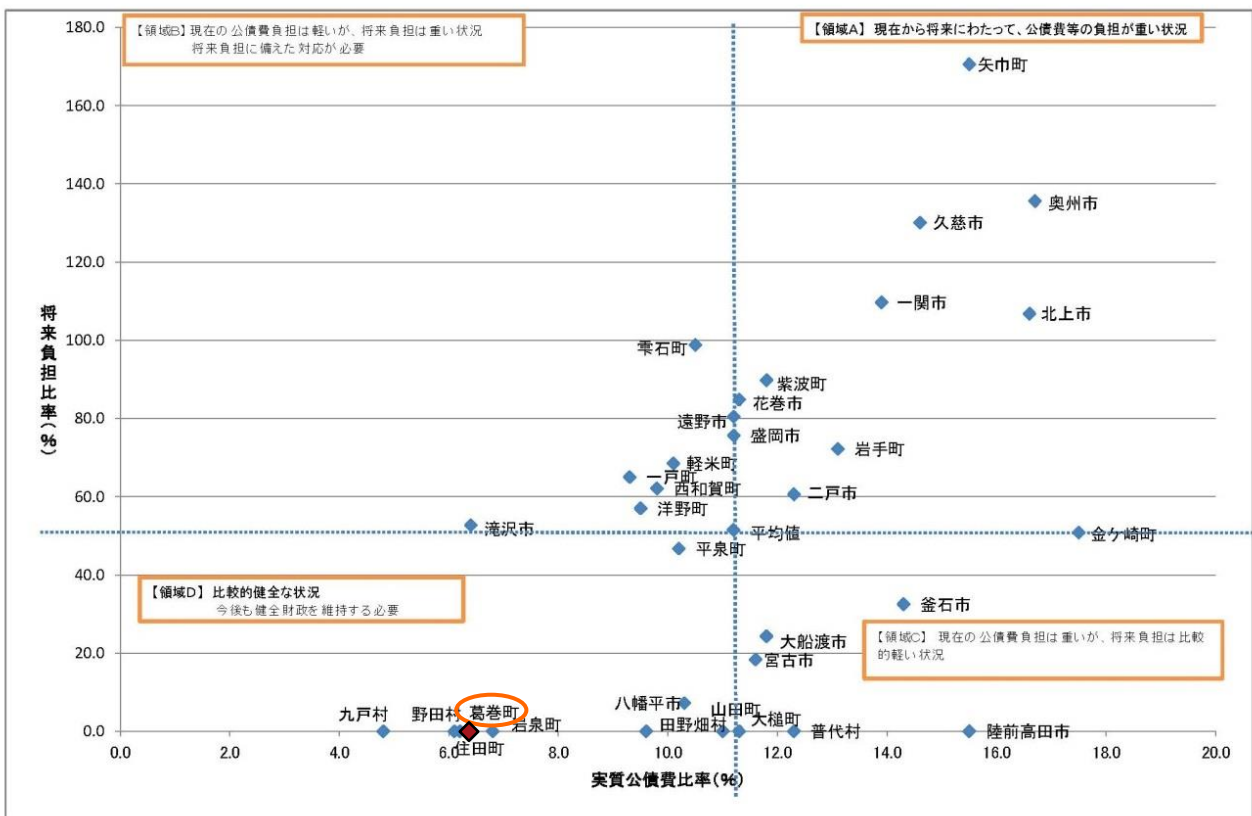
町の平成26年度の経常収支比率は83.1%で、前年度と比較して1.0ポイント増加しています。



●平成26年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、平成26年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



■一部事務組合及び第三セクターの状況（平成26年度）

●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域行政事務組合	5,407	5,389	18	17
盛岡北部行政事務組合	6,370	6,252	118	118
岩手県市町村総合事務組合	13,175	12,912	263	263
岩手県自治会館管理組合	78	75	3	3
岩手県後期高齢者医療広域連合	152,424	147,659	4,765	4,765

形式収支…歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支…形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 運営費補助	町の損失 補償債務 高
(一社) 葛巻町畜産開発公社	▲ 23	318	189	-	361
葛巻高原食品加工(株)	14	227	40	-	40
(株) グリーンテージくずまき	5	21	20	-	-
エコ・ワールドくずまき風力発電所(株)	5	▲ 174	3	-	-
葛巻町森林組合	1	117	27	-	50

経常損益…営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額。

損失補償…第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。

平成26年度 まちの財務諸表

■バランシート（貸借対照表）

「バランシート」には、町が保有する公共施設や現金などの「資産」、借入金などの「負債」、「資産」から「負債」を差し引いた「純資産」が記載されていて、それらのバランから、予算・決算からだけでは把握しにくい町の財政運営の健全性を測ることができます。

●バランシート（貸借対照表） ※平成26年度と平成25年度の比較

（単位：千円）

[資産の部]	平成26年度	平成25年度	差引増減	[負債の部]	平成26年度	平成25年度	差引増減
1 公共資産	22,185,800	22,268,157	▲ 82,357	1 固定負債	5,752,088	6,025,877	▲ 273,789
(1) 有形固定資産	22,185,800	22,268,157	▲ 82,357	(1) 地方債	5,040,489	5,089,157	▲ 48,668
(2) 売却可能資産	0	0	0	(2) 長期未払金	52,334	60,434	▲ 8,100
				(3) 退職手当引当金	614,140	826,136	▲ 211,996
				(4) 損失補償等引当金	45,125	50,150	▲ 5,025
2 投資等	4,173,744	4,681,841	▲ 508,097	2 流動負債	617,500	624,048	▲ 6,548
(1) 投資及び出資金	730,911	1,203,606	▲ 472,695	(1) 翌年度償還予定 地方債	570,191	576,838	▲ 6,647
(2) 貸付金	119,806	147,472	▲ 27,666	(2) 短期借入金	0	0	0
(3) 基金等	3,297,746	3,301,527	▲ 3,781	(3) 未払金	8,025	8,601	▲ 576
(4) 長期延滞債権	27,725	30,120	▲ 2,395	(4) 翌年度支払予定 退職手当	0	0	0
(5) 回収不能見込額	▲ 2,444	▲ 884	▲ 1,560	(5) 賞与引当金	39,284	38,609	675
				負債合計	6,369,588	6,649,925	▲ 280,337
				[純資産の部]	平成26年度	平成25年度	差引増減
3 流動資産	1,920,886	1,645,445	275,441	1 公共資産等整備 国県補助金等	6,360,281	6,435,356	▲ 75,075
(1) 現金預金	1,915,243	1,638,355	276,888	2 公共資産等整備 一般財源等	17,327,364	17,739,089	▲ 411,725
①財政調整基金	922,740	722,600	200,140	3 その他一般財源等	▲ 1,773,416	▲ 2,225,544	452,128
②減債基金	610,588	510,418	100,170	4 資産評価差額	▲ 3,387	▲ 3,383	▲ 4
③歳計現金	381,915	405,337	▲ 23,422				
(2) 未収金	5,643	7,090	▲ 1,447				
①地方税・その他	6,153	7,390	▲ 1,237				
②回収不能見込額	▲ 510	▲ 300	▲ 210				
資産合計	28,280,430	28,595,443	▲ 315,013	純資産合計	21,910,842	21,945,518	▲ 34,676

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

「資産」については、地方公営企業会計基準の見直しの影響により病院会計の純資産額が減少し、投資等額が5億円減少しましたが、流動資産を2.8億円増加させるなど健全な財政の運営のために留保していることが分かります。また、「負債」が2.8億円減少していることから、この一年間で現役世代の負担による資産の形成が進み、将来世代の負担が減少したといえます。

■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	48.9億円	特定財源	1.2億円
人にかかるコスト		事業に対する受益者負担	
人件費や退職手当引当金繰入等	6.0億円	使用料、手数料	0.7億円
物にかかるコスト		分担金、負担金など	0.5億円
物件費、維持補修費や減価償却費	21.9億円		
移転支出的なコスト			
社会保障給付費や補助金など	20.3億円		
その他のコスト			
公債費（支払利息）など	0.7億円	不足する約47億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	

■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

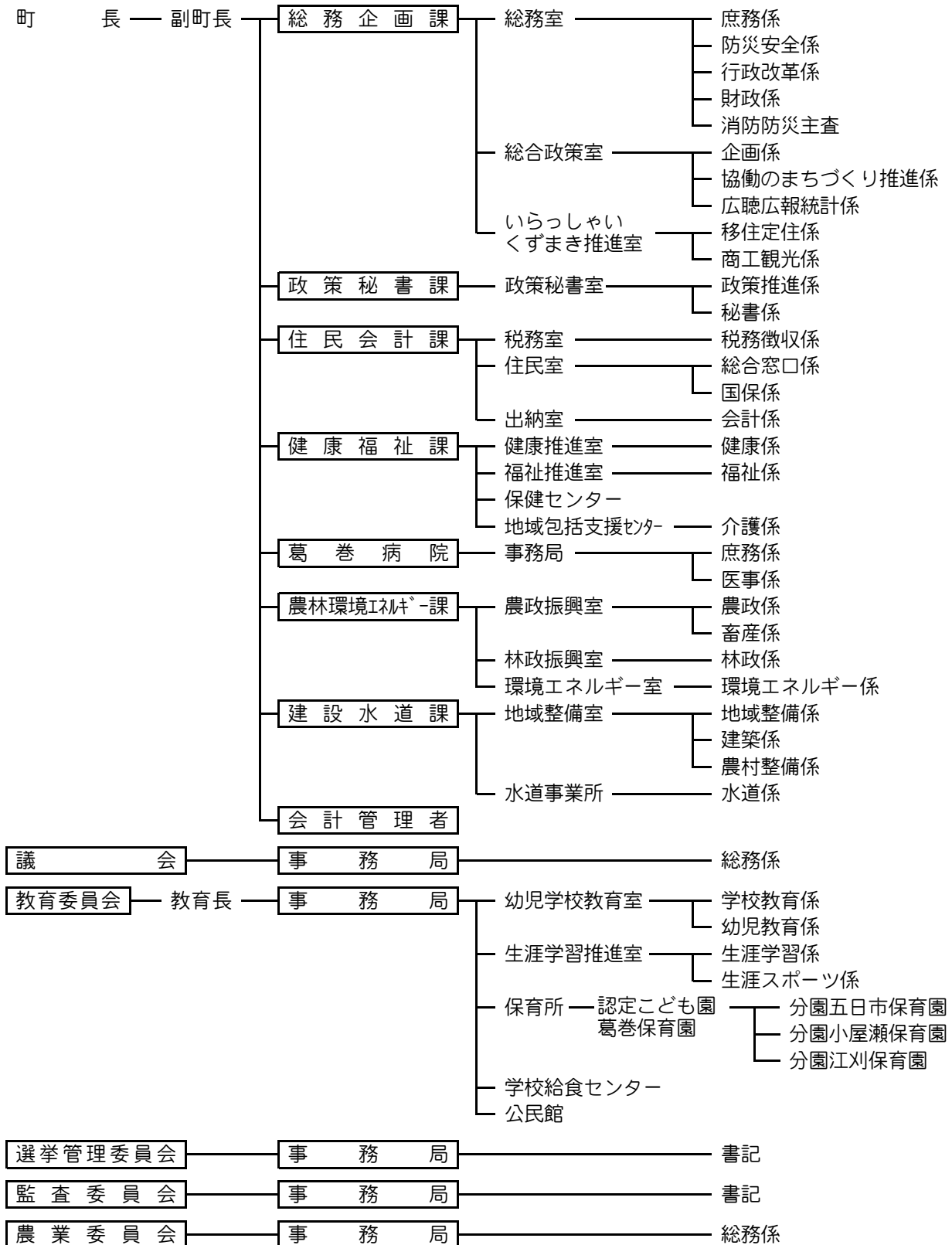
純資産合計	
期首純資産残高	219億円
純経常行政コスト	▲ 48億円
一般財源	43億円
地方税	4億円
地方交付税	34億円
その他行政コスト財源	5億円
補助金等受入	11億円
臨時損益	▲ 6億円
期末純資産残高	219億円

■資金収支計算書

町の現金などの資金の流れをその性質に応じて「経常的支出」「公共資産整備支出」「投資・財務的支出」に区分し、それに対応する財源を収入として表示したもので、歳入・歳出の実態を反映した財務書類です。

1 経常収支の部	
支出合計	38.3億円
収入合計	54.0億円
経常的収支額	15.7億円
2 公共資産整備収支の部	
支出合計	10.5億円
収入合計	6.4億円
公共資産整備収支額	▲ 4.1億円
3 投資・財務的収支の部	
支出合計	13.5億円
収入合計	1.7億円
投資・財務的収支額	▲ 11.8億円
当年度歳計現金増減額	▲ 0.3億円
期首歳計現金残高	4.1億円
期末歳計現金残高	3.8億円

平成28年度 まちの 行政組織





お知らせします！

まちの行財政 2016

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場
総務企画課行政改革係までお気軽にお寄せください。

電話番号 0195-66-2111 (内線 214)
ホームページ <http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>

※ この冊子の印刷費は、1冊当たり約130円です。